

14人・1,200万円の海外視察に 市民の理解は得られません！

上海・ベトナム・シンガポールへ7泊8日、ひとり約86万円

1月10～17日（7泊8日）、熊本市議会東アジア交流訪問団による「上海市、ベトナム・ハイズオン市、シンガポール」への視察が行われました。日本共産党市議団と1人会派を除く、すべての会派から14人が参加しました。

【参加者】

（自民党市議団）江藤正行、牛嶋弘
坂田誠二、津田征士郎（議長）、斉藤聡
くつき信哉、原口亮志
（くまもと未来）下川寛、田尻善裕
重村和征、田中敦朗
（市民連合）田辺正信、東すみよ
（公明党市議団）鈴木弘
県議会は議長のみ、上海事務所開設式に参加しました。

市民からも、「財政難のときに、お金も人数も多すぎる」と批判の声が上がっています。

【主な視察先や参加行事】

（上海市）熊本上海事務所開設式
及びレセプション

平田機工上海事務所

孫文記念館 など

（ベトナム・ハイズオン市）

ハイズオン省との昼食会・意見交換

及び夕食レセプション

歴史遺産：マオディエン文廟

チューダウ焼（陶器）視察 など

（シンガポール）

コンベンションセンター

日本品を扱う企業の視察

熊本県人会とのレセプション

日本共産党市議団は、海外視察は緊急性がなく、上海事務所開設式には議長だけの参加で充分という立場で、昨年9月議会の議員派遣議案に反対（自由クラブ1人も反対）、視察にも参加しませんでした。

第1回定例会日程（2月24日～3月21日）を決定

益田牧子議員の一般質問は、3月2日、午前10時～12時です。

市民の皆さんの、ご意見・ご要望を市議団へお寄せ下さい。

2月24日	金	本会議、開会	提案理由説明
28日	火	一般質問	午前(自民)、午後(未来)
29日	水	一般質問	午前(市民連合)、午後(公明)
3月2日	金	一般質問	午前(共産:益田) 、午後(自由)
5日	月	一般質問	午前(自民)、午後(未来)
6日	火	一般質問	午前(市民連合)、午後(公明)
7日	水	一般質問	午前(自民)、午後(未来)
9日、12日	金月	予算決算委員会	総括質疑
13日 ～16日	火～ 金	予算決算委員会 常任委員会	分科会 部門別
19日	月	予算決算委員会	分科会長報告、締めくくり総括質疑、表決
21日	水	本会議、閉会	質疑、討論、表決

（控室から） 益田牧子
「カーネーション」の朝

毎朝の楽しみとなつていく朝ドラ「カーネーション」。体当たりで道を切り開いていく主人公に、胸のすく思いがします。息子を2人も、戦争で失った「かんすけちゃん」のお母さんの悲しみに、涙した人も多いのではないのでしょうか。戦災孤児に財布を盗まれながら、こどもの行く末を思いやる主人公にも、ジンとさせられました。元気な三人娘が、今後どのようにして、ファッションデザイナーに成長するのか、戦争未亡人となった主人公の恋の行方にも目が離せません。

20歳代だった主人公達は、今では、八十才代。同世代の方から、「生活が大変苦しい。早く死にたい」と書かれた「市民アンケート」が届きました。それなのに、野田民主党政権は、何が何でも消費税10%への引上げを強行しようとしています。今年度から、平均五万円の年金を削り、介護保険料、後期高齢者医療保険料など負担増が目白押しです。「カーネーション」に元気をもらいながら、「人間らしい、安心の老後」を目指します。

日本共産党 市議会だより
発行：日本共産党熊本市議団
ますだ牧子 上野みえこ なすまだか
熊本市手取本町1-1 議会棟3階

No.786
2012年1月29日号
電話 328-2656
FAX 359-5047
メール：kumansu@gamma.ocn.ne.jp
ホーム：http://www.jcp-kumamoto.com/





「申し込みが殺到！」 「地元業者の仕事が激増し、地域経済が活性化」

日本共産党熊本市議団は、1月23日、民商や熊建労の方とともに、住宅リフォーム助成制度に申し込みが殺到している

佐賀市を視察。取り組みとその効果について調査を行いました。

2億円の予算で**14億円**分の工事が全て地元業者に！

担当者もびっくり！2ヶ月で申し込みが1000件！



住宅リフォーム助成制度の特徴は、少ない予算で大きな経済効果を生むことです。地元業者への発注が補助の条件であるため、工事すべてが地元業者の仕事につながります（佐賀の場合は、地元本店を置く業者への発注のみ。支店は不可であるため、市内に支店を置く大手建設業ではなく、地元中小業者への発注が中心となります）。

また、リフォーム工事の中身も多彩であるため、多様な業種にその効果が広がります。

佐賀市では、2億円の予算に対して、発注工事総額が14億円、経済波及効果は24億円になるとのことです。不況のあおりを受け経営の危機に瀕している建設業者の再建とともに、地域経済の活性化への起爆剤となっています。

熊本市でも経済効果抜群の「住宅リフォーム助成」実施を！

熊本市では、リフォーム助成制度が実施されていません。

佐賀では、県知事選挙のマニフェストによって実現をしたリフォーム助成制度に、佐賀市が独自の上乗せを行い、リフォーム工事が大きく広がっています。

また、事前の審査や工事後の確認など民間の協力も得なが

ら、簡易な手続き、迅速な対応がなされていることも利用が広がった大きな要因です。

熊本市においても、住民にも業者にも喜ばれている住宅リフォーム助成制度の実施に踏み切るべきです。



住宅リフォーム助成制度とは…

住民が住宅等のリフォームを行う際に、市内（県内）業者に発注することを条件に、工事額の10%程度を行政が補助する制度です。制度の実施を機に、リフォーム工事が大きく広がり、建設業者や地元中小商店の仕事や雇用が増え、地域経済の活性化につながっています。

10月20日に受け付けが始まりましたが、予想を大きく上回る約1000件の申し込みが殺到したため12月22日には、いったん受け付けが締め切られました。受付再開にむけ、追加の補正予算が検討されています。「効果が薄いのでは」と心配していた担当職員も需要の大きさに驚いたそうです。

佐賀県 の助成制度(50万円以上の工事)

リフォーム工事(屋根や外壁の塗装、壁紙床の張り替え、浴室・トイレなどの改良工事、窓ガラスの取り換えなど)に対して工事額の15%・上限**20万円**。耐震・エコ・手すりなどの福祉目的などの工事には、さらに加算**20万円**まで。

佐賀市 の助成制度

耐震・エコ・手すりなどの福祉目的、市産木材使用、緑化の推進などの工事には**10万円**まで助成

県と市の制度を合わせるとリフォーム工事に**最大50万円**の補助金が助成されます。制度を機に、リフォーム工事が大きく広がり、住民にも業者にも喜ばれています。